

生駒市長に山下氏

投票率38.87% 実績訴え3選

毎日新聞 2014年01月27日 奈良版

開票結果

◇生駒市長選＝選管最終発表

当 24729 山下真 45 無現 / 7764 久保秀徳 59 無新 / 3609 土倉幸雄 77 諸新
山下真 (やました・まこと) 45 無現 (3)

元弁護士▽市社会福祉協議会長 歴新聞記者▽市民団体「さわやか生駒」代表▽京大

任期満了に伴う生駒市長選は26日投開票され、無所属現職の山下真氏(45)が、無所属新人で生駒民主商工会事務局長の久保秀徳氏(59)、諸派新人で政治団体代表の土倉幸雄氏(77)の2人を破り、3選を果たした。投票率は38.87%で、過去最高だった前回の53.15%を大きく下回った。当日有権者数は9万5705人(男4万4810人、女5万895人)だった。【熊谷仁志、芝村侑美】

山下氏は、市の借金や職員数削減などの行財政改革の成果や、住みやすさの市民満足度、民間の住み良さランキングの向上など2期8年の実績を強調。「関西一魅力的な住宅都市」づくりや改革の総仕上げを訴え、幅広く支持を集めた。

久保氏は共産の支持を受け、福祉施策充実など「あったか市政への転換」を訴えたが、及ばなかった。

土倉氏は、医療法人「徳洲会」が指定管理者の市立病院中止を前面に出して戦ったが、浸透しなかった。

3選を決めた山下氏は市内の事務所で支持者らとバンザイ。「実績が評価されたと思うが、もう少し投票に行ってほしかった。来年6月の市立病院開院に向け、準備を万全に進めたい」と語った。

新議員決まる 市議補選

開票結果

◇生駒市(改選数1-2)＝選管最終発表

当 18041 沢田薫 45 無新 / 15798 福中真美 50 無元
沢田薫 45 無新 (1) NPO法人理事▽未来政治塾生

元職と新人が争った市議補選(改選数1)も当選者が決まった。投票率は38.85%だった。

視点

自民不戦敗 信任投票に

政権与党の自民系候補が立候補せず、実質的に山下真市長の信任投票となり、低調な選挙戦に終始した。

自民推薦候補は2013年の奈良、天理両市長選で連敗。衆院奈良2区選出の高市早苗・政調会長にとって、生駒は事務所を置くお膝元だが、強力な現職を相手に、3連敗より不戦敗を選んだ形だ。地元自民関係者は「(候補者探しで)高市さんに頼り過ぎた」と話す。

しかし、市立病院問題以外で大きな対立点はなく、現市政継続で大きな不都合はなかった。山下氏が「3期まで」と公言する中、「勝負は次」との声は多い。

前市長と元議長による汚職事件摘発から7年。山下氏は13年10月の後援会設立集会で「市政への関心を失わないで」と呼びかけた。選択肢が乏しかった面はあるにせよ、市民の関心低下は選挙で現実に浮き彫りになった。

「権力の腐敗」を防ぐには議会の監視だけでは不十分。過去の事件の教訓だ。市長や議員に任せきりにせず、市民が声を直接届けて緊張感を与える。市民の関心こそが「最も身近な民主主義(地方自治)」を鍛える。【熊谷仁志】